

磐城時報

編輯者 石城郡平町 田中 弘成
印刷者 石城郡平町 印刷所
發行所 石城郡平町 印刷所
電話 一四二五
代價 一月一元二角 三月三元五角 半年六元五角 一年十二元
廣告料 一日一角五分 一月一元 三月三元 半年六元 一年十二元
日刊(日曜) 休刊

石城地方の春蠶

例年より一割位增收か

桑の發育非常に良好 收購は数日早い見込

石城地方に於ける春蠶は目下三眠から四眠の間にあり、早きは今月末日頃から上簇來月六七日から收購する模様であるが、氣候よく桑の發育も良好従つて蠶兒の發育又極めて順調でこの分で行けば空前の好成績を収め得るものと豫想される、本年は日露戦後二十五週年に際して長氣候の關係その他で收購期は例年より四五日は早いので、四倉集繭市場は毎年六月十三日に開市して居たのを本年は数日早くあげ、来る六月七八日頃から開市することになり準備を急いで居る、繭價は昨年比し二割位暴落して居るが、收購が一割から二割位増すものと見られるから割合に収入は減じぬらしく農家氣を呈して來た事は既報の如くあつた、小名濱に初繭が水揚の意を強くさせて居る、右についで各濱の漁船は春漁のれたので各濱とも異状に緊張して石城養蠶同業組合技師は語

▲廢兵に酒肴料 平町 若本重雄、八幡庄三郎の兩氏は自動車事故の頻發を防止する爲自動車を二五週間に際して長めに極めて嚴重なる検査をなす方針である。

六月に入ると

鯉が石城沖に來る 活氣づく石城七濱

石城郡各濱が鯉漁期に入つて活ける小賣相場場は二十割以上で割合に収入は減じぬらしく農家氣を呈して來た事は既報の如くあつた、小名濱に初繭が水揚の意を強くさせて居る、右についで各濱の漁船は春漁のれたので各濱とも異状に緊張して石城養蠶同業組合技師は語

次第直に漁獲し得る準備を整へ遊してゐた鯉群が漸次北進し千澤一造氏所有船萬盛丸は二十日、葉縣も鯉子沖合まで來てゐるの、千葉縣鯉子沖合に於て鮪数千尾ものと豫想されてゐる。

伏見氏片倉入

平町長伏見彦衛氏令息伏見文彦氏は今回農工銀行平支店を辭し片倉製糸社仙臺工場會計係に赴任する由である。

湊議長

今朝死亡

過般來病氣靜養中の縣會議議長湊芳藏氏は二十四日午前三時死亡した。(福島電)

自動車検査

平警察署管内に於ける定期自動車検査は来る三十日から向ふ一週間平町八幡小路の舊警署グラウンドに於て執行するが、自動車事故の頻發を防止する爲めに極めて嚴重なる検査をなす方針である。

財政難に陥り

四苦八苦の平町

給料のみで一万圓 止むなく叩頭政策

各町村共四五兩月は年々稅收がさへ延滞利子を拂つてゐる状態極めて少いにも拘らず前年度の、従つて土木費を始めその他仕拂分等一切を濟ませねばならぬの經費は全く支拂不可能な始末なので、その苦勞は一通りで、町では止むなく叩頭政策でなく、辛ふじて切抜け得らるゝ行かねばならぬ窮狀全く言外では全く優良な處で、或は一時期あると。

石城各地に

鯉が出廻る

鯉漁調査の警城丸第三般海によつて石城地方市場には鯉がなだけ四苦八苦の体である、即ち一ヶ月後、學校その他の職員給料が九千七十餘圓、ザット一萬圓となるのでそのやり繰り容易な事でない、處へ滞納處分は抄々しからずその上年賦の町警察部長は濱通り各警察署の巡二萬圓といふものが四月中の回のため二十五日平町に來り先支拂はねばならぬに拘らずそれ平警察署の巡回を行ふと。

歌川部長巡閱

歌川部長は濱通り各警察署の巡二萬圓といふものが四月中の回のため二十五日平町に來り先支拂はねばならぬに拘らずそれ平警察署の巡回を行ふと。

夫への面あてに

先妻と同じ處で轢死

昨夜赤井驛附近で

石城郡赤井大字三島字中屋敷農遺書により夫婦喧嘩の結果と判業松本一郎次内縁の妻上小川村明したので平署から高野部長出山田金作三女(二七)は二十張張視したが、松本一郎次の先三日午後八時半頃赤井小川驛妻よし子も数年前二十一歳で同間警東線鐵道線路で平驛發午地内で轢死を遂げた事あるの、後七時五分貨物列車の機關車附近では氣味悪い因縁話を噂しに飛び込み覺悟の自殺を遂げた、てゐる。

勿來町の

稚蠶組合

縣下に魁して設立された石城郡勿來町の窪田稚蠶飼育組合では今春蠶から共同飼育を開始した、催青経過も極めてよく、五月六日三百枚を揃立共同桑園を使用し、石川光明、二田彦四郎の兩指導の下に各飼育家が交互に詰めた結果發育頗る良好に過般視察の太田蠶糸課長、愛宕久人濱支所長の一行も驚いた程の成績で、五月十九日三齡一日目にてそれ分配を終つて尙分配後の経過も順調で、先づ最初の試みとしては成功で、地方からの視察者も相當にあり非常に期待されてゐる。

常設館便り

▲平 館 松竹作品 窪田静枝、奈良真養主 演「マルセーユ出帆」エ 社作品「ゾーデ、ルイ」ズ主演「大學生活」第五六篇、日活超特作遠山滿、小原小春主演「鴛鴦呪文」 ▲有 聲 座 マキノト作河津精三郎主演「日本巖窟王」東亞作品雲井龍之助「君戀し」キノ作品窪田敬之助主演「兩國」マキノ作品根岸東一郎主演「特急本墨打」

官行製炭の擴張で

木炭組合苦境に陥る

昨年は八十萬圓の大激減

濱三郡木炭同業組合が昭和四年度中の生産高は石城郡五十六萬六千三百五十五俵、双葉郡四十八萬二千二百五十五俵、合計百二十五萬一千四百七十一俵、金額約百萬圓であるが、これを前年度の百七十九萬俵、百七十九萬四千圓に比較すると、生産高五十三萬八千六百六十七俵、金額約八十萬圓の大激減である、即ち生産高に於て約三割、更に價格の低落から生産額に於て實に四割の減といふ二重減の悲惨な状態を見たものである、尙この原因は不景氣ばかりでなく官行製炭事業の進出にもよるものであると、同組合における生産者数は本業約八百名、副業約二千名である。

俳句

雪 哉

粒々心涙に春の雨 土堤窪に火仙長く日暮けり 陽炎や雲流れ行く日の光り 一群れば彼處に遊ぶ羽蟻垣 打つけのまゝに地肌の霞哉 一滴一滴聞く寒山寺 笠草今朝踏む露の一層り 瀬の川に鳴浮いてゐる雪の家 ふ事になつたが同地方では同月二十日頃から一般に行はれる模様で、植付準備の耕耘に各農家は繁忙を極めてゐる。

怪し下宿屋

やつとこすつとこ就職網を潜つて、ホッと一安心、この平町に荷物を運んで来た。勿論妻も無ければ子も無い俺のこゝだ。停車場に荷物を預けて早速下宿を探し始めたが中々貸間が見当たらない。友人にあつちつち聞き当つて貰ふと案外變なところに行くらあ素人下宿が首を長くして待つてゐるんだ。さうならさうと最初から何故貸間札位貼つて置かないのか。第一その事で俺の勘の虫がビリビリした。

愈々交渉となつて同僚の誰かが種々奔走して呉れた。お蔭で日當りのいゝ閑静な八疊一室に十八圓で置いて呉れる。荷物を運ぶにふた段になる。前金に貰いたたいといふ。不快だったが承諾して歸らうとする。待つて下さい、といつ證書を書いて下さい、といふ。

事茲に至つて益々不愉快になつて了つた。一体宿代を前金にどうして何の爲の證書なのだと詰つてゐるのか、よし夜逃げをしたとしたら宿料と俺の持つてゐる荷物の代金は取得になる譯ぢやないか。だが寛大な俺の度量はこの事をも甘んじて諾した。處かだ一も一圓出して下さい、あの部屋は特別に、なんだから、といふんだ。俺はブーンと心臓を酸酵させて、歸つちまつた。暫くして勤務先に行つて見るとその下宿屋から電話が来て先刻の十九圓と言つたのは間違ひだつたら、是非來て呉れ、御馳走は出来る、文藝發するから、といふのだ。

これを讀んだ人等よ、平町の真中にこんな譯の判らぬことをいふ男が、四角な建物を建て、ふんぞり返つてゐるといふ事は何としても不愉快なことぢやないか。

電話特別開通受付開始

- 一、受付期間 五月二十六日より六月五日迄
- 一、設備費 金四三〇圓 (外に加入登記料金五圓)
- 一、受付場所 當局窓口
- 一、詳細は窓口又は電話第四〇〇番へ御聞合せ下さい

平郵便局

思想善導劇

各商店ヨリマラソン競走之勝利者ガ載タル賞品芝居見物御客様へ御土産トシテ進呈仕候

優俳 マラソン競走

新派相樂會若手俳優一座

大景品進呈

當ル五月廿六日(木)向五日開演

館樂聚 催主

衛生試験所

- 産兒制限相談所 (無料) 検尿一回一種 金二十錢 其他牛乳、水、鑽石等
 - 平消毒所 (海湖一枚一圓、五十錢以上) 衣服一枚、三十錢以上)
 - 月やく強流下藥專賣所 (京都、西山研究所製)
- 藥劑士 宇佐美藥局
- 新設電話一六六番

耳鼻咽喉科專門

病室完備：自炊の便あり

平町南町 大和田醫院

電話一七〇番

コロンビア・レコード

鈴木傳明……吹込

田中絹代……吹込

進軍の唄

斷然レコード界をリードせる好吹込

各會社レコード新譜取揃

計時店

平屋時計店

常盤電話三三九番

外科一般

醫學博士 藤本 順

産婦人科

院長 木村寅次郎

平町新川町 (電話一六四)

木村病院

病室完備 入院隨意

柳川なべ

あいはじめました

田町

鳥料理 初音

電話二三三六番

耳鼻咽喉科專門

移築場所 合津醫院

平町仲田町七一

電話五五九番

一葉印刷所

平町 宇野仲町

電話七三四番

吸入用酸素酸素吸入器

正確体温器寒暖計

特設平町 開内藥局

電話四〇番

會津柳津 參拜團體募集

福満堂空藏啓

期日及行程

六月三日午前五時四十分 平野發會津上戸驛午前十一時四十分下車し汽船にて猪苗代湖名所遊覽汽船中にて餐食、夫れより翁島高松宮殿下御別邸拜觀後長濱上陸午後四時より自動車にて東山温泉福住旅館一泊四日午前八時出發自動車にて坂下町塔寺立木觀世音參拜、夫れより坂下驛にて乘車柳津虛空藏尊へ參拜し坂下へ戻り、自動車にて若松市着鶴ヶ城跡にて餐食、夫れより自動車にて飯森山其他名所を遊覽し、再び東山温泉福住旅館着泊

五日午前九時同所に於て解散

募集人員 定員壹百名限

申込締切 期日六月一日

會費 御一人前拾貳圓也 (汽車賃、自動車賃、舟賃、宿泊料、餐食全部付)

申込所

平町二丁目 伊關吳服店 電話三三三番

平町二丁目 鍋嘉酒店 電話四三三番

町平一丁目 關原商店 電話五六〇番

平町田町 益 電話三二二番

平町田町 初音 電話二三三六番

看護婦會

會長 清野キヨ

平町南町 電話三〇七番

看護婦派出の需めに應じます